一般ポスターセッション

山中 寿行*

年次大会2日目に行われた一般ポスターセッションは、発表件数27件であった。また、技術進歩賞1件の発表も同時に行われ、合計で28枚のポスターが並んだ。材料開発、成形加工技術、構造物性検討、評価技術の開発など、幅広い分野での研究が報告され、それぞれの発表に対し濃密で活発な意見交換がなされ盛況であった。

希望者を対象とした一般ポスター賞を、大学・企業・公設試験研究機関の審査員の方々に審査していただいた。以下に選出された1件の発表者と題目を記す。

- ・東田拓平氏（ポリプラスチックス）：「ヒートショック寿命推定に向けたその場ひずみ計測に基づくインサート成形品の応力評価手法の実証」

表彰式は2階B会場平安で行われ、山部実行委員長から受賞者へ記念盾が贈られた。

次回も今回同様に多数の研究者・技術者の発表、セッ

一般ポスターセッション表彰式にて
左：山部実行委員長 右：東田氏

ション参加を望み、活発なディスカッションを通じた研究開発の進展と技術交流の場として本セッションが機能することを期待する。

最後に本セッションを遂行するにあたり、大変多忙な中、審査にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

* Yamanaka, Toshiyuki
(地独)東京都立産業技術研究センター
開発本部 開発企画室 プロジェクト企画係
江東区青海 2-5-10 (〒135-0064)

カタログ・機器展示

山田 紗矢香*

カタログ・機器展示は、成形加工に関する第一線の研究者・技術者が1,000人近く参加し、多くの研究発表、ポスター展示などが行われる成形加工学会年次大会において、研究者・技術者と新技術が出会っていただく場として開催されている。本展示は1日目の10:00~17:50と2日目の9:20~13:30にX会場にて開催された(ポスターセッション会場に隣接)。成形材料、加工機械、評価機器、CAEソフト、受託試験などが展示された。今回の出展数は37で近年最高であり、来場者も多く、各ブースも非常に盛り

上がっていた。工夫を凝らした展示も多くあった。来場者からも「非常に活気が出てきた」とのコメントが出ていた。個人的にも、評価機器や受託試験についてわかりやすくご説明いただき、効率良く情報を収集することができ、非常に有意義であった。私は今回本展示の実行委員をさせていただいており、複数の出展者様からは来年の出展をご希望いただいた。より盛り上がるカタログ・機器展示になるようにしていきたい。この場をお借りして、出展いただいたみなさまにお礼を申し上げます。大変ありがとうございました。この機会が少しでもみなさまのお役に立ちましたら幸いです。

* Yamada, Sayaka
(株)神戸製鋼所 機械研究所 流熱・化学研究室
神戸市西区高塚台 1-5-5 (〒651-2271)

ダイバーシティ交流会

徳 満 勝 久*

社会環境が大きく変化するなか、女性をはじめ若手から高齢者、外国人など様々な人材を確保し“協同してより良き社会へ”に向かって、一人一人が活躍できる場や雰囲気醸成することは、重要な組織運営戦略の一つとなって

いる。本学会でも、プラスチック成形加工業界における‘ヒト’の多様性(ダイバーシティ)に関係した課題を、皆様と一緒に考える風土をつくるという観点から、数年前よりダイバーシティ交流企画を実施している。本学会は比較的風通しのよい学会であるので、会員の皆様とダイバーシティに関係する課題を一緒に考え、情報を共有化することができる“風土作り”という観点から交流イベントを企

* Tokumitsu, Katsuhisa
滋賀県立大学 工学部 材料科学科 有機複合材料研究分野
彦根市八坂町 2500 (〒522-8533)